



歩いて中の島へ上陸

十三湖を歩いて渡る「第2回十三湖・湖上ウォーク」が7月20日の海の日に開催され、県内外から集まった137人が鯉崎から中の島ブリッジパークまで、約4.5キロのウォークに挑戦しました。

花火を合図にウォーク開始。当日は風が強く、思いがけない寒さもありましたが、お互いに励ましあいながら約2時間で中の島ブリッジパークに到着しました。

～ 20歳の決意を新たに ～

平成10年度

成人式

平成十年度の成人式が八月十四日、村コミュニティセンターで行われ、新成人たちが社会の一員としての決意を新たにしました。

成人式は

新たな出発の日

今年成人を迎えたのは、昭和五十二年四月二日から昭和五十三年四月一日までに生まれた六



▲記念撮影より

十七名が参加となっており、このうち当は四十一名が出席、会場では、久しぶりの再会に懐かしむ場面や、記念写真を撮影する場面がいたるところで見られ、和やかな雰囲気の中で成人式が始まりました。

式典では「今日の日を新たな起点として、郷土しらの発展のためにみなさんの若い力を貸してほしい。」と木村教育長の式辞や、高松村長による「皆さんが主役となる二十一世紀は本当に厳しい時代です。そんな厳しい時代を生き抜くため、成人式を期に、今からしっかりと自分の人生目標を定めて、強くたくましく生きていく決意をしてほしい。」との祝辞を受け、新成人を代表して三和千晴さん

を述べました。

式典終了後は、青森市内で経営・財務コンサルティング会社を営んでいる北村真夕美さんによる「ステキな貴方、ステキな人生めざして」

と題した記念講演が行われ、その中で「皆さんが幸せになれる方程式は苦勞×教養です。若い頃に大いに勉強を、汗を流し、涙を流してください。素晴らしい努力や苦勞をした下積み経験は必ずみなさんに返ってきます。これからこの方程式を実行して、すばらしい人生を送ってください。」と参加者を激励、引き続き祝賀会へと移行しました。

誓いの言葉



三和 千晴さん

今日私たちは晴れて、成人となり大人の仲間入りをしました。これまでは地域の方々に甘えながら、日々の生活を送ってきました。しかし、これからは一人前の社会の構成者として、主体性をもち、自分の行動に責任を持つことが求められています。その期待にこたえ、それぞれの目指す

人間像に到達すべく自分を磨く努力をしていくことをここに誓います。

私たちが愛してやまない市浦村が今こうしてあるのはひとえに先輩方の努力があったからだと思います。その感謝の気持ち忘れず、これからは私たちが「ゆとりと風格のある村づくり」を目指すお手伝いができるよう努力していきたいと思ひます。

長い歴史と、美しい自然、そして暖かい人情あふれる市浦に生まれ成人できることをどうぞ誇りに思います。どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

本日は、ほんとうにありがとうございます。



▲久しぶりの再会を喜ぶ参加者



▲成人を祝して乾杯



▲美女ぞろいの新成人



▲男の友情はカタイ？

二十秒スピーチで自分をアピール

祝賀会では乾杯の後、二十歳にちなんで参加者全員による二十秒のスピーチが行われました。その中で参加者たちは「久々に市浦に帰ってきたら、ゴミの分別収集が始まって驚いた」「しばらくぶりにみんなに会ったら、すっかり変わってびっくりした。」とふるさとや友人の変わり方に驚く人。これから

いろいろなことにチャレンジしていきたい。」と意欲を見せる人。その他にも自分の職場をアピールする人や、中には「将来は市浦町の村長になる」と話す「大胆な」人も……。そんな個人的な発言が飛び出すたびに会場が大

きな拍手と笑い声が響きわたるなど、少年時代の「もっつけ」ぶりが発揮される場面もあり、参加者は時がたつのを忘れ、友人との再会を楽しんでいました。

夢のある街づくりに 役立つ簡保

— 郵便局の簡易保険積立融資 —



ローラースライダーとも連結され、高さ約18mもある十三湖高原展望台は、村の新たな観光スポットに。

駐車場等の舗装や総合案内板も設置され、観光客にも好評な福島城遺跡公園。

簡易保険にご加入のみなさまからお預かりした保険料は、将来の保険金や年金などのお支払いに備えて積み立てられ、この積み立てられた資金が「簡保資金」となっています。簡保資金の多くは、学校や公園などの公共施設の建設や整備に活用され、まちづくりのお手伝いをしております。当村でも、平成9年度に合計7,360万円の融資を受けています。その内訳は次のとおりとなっています。

- ◆十三湖高原展望台整備事業 3,860万円
- ◆福島城遺跡公園整備事業 3,500万円



NEWS フラッシュ

赤 ちゃんとふれあい 母と子のふれあいセミナー

七月八日・十三日の二日間、コミュニティセンターにおいて、平成十年度「母と子のふれあいセミナー」が開催されました。

これは、乳幼児とのふれあい体験をすることによって、生命の誕生の尊さを知り、健全な母性及び父性の意識を育成する機会とするのを目的に、平成六年度から行われているものです。今回は市浦中学校三年の生徒四十一名、そして村内在住の一歳未満の子どもとお母さん十四組が参加しました。



▶お願いだから泣かないでね

七月十三日はいよいよ体験学習。本番では慣れない手つきで泣きだす赤ちゃんに最初から最後まで悪戦苦闘していましたが、この体験を通じて赤ちゃんは泣くことも成長の一つとして感じ、とらえようで

去る五月二十四日に病気のため亡くなられた工藤武義さん(十三)が勲六等単光旭日章を(十二)が勲六等単光旭日章を受賞されました。

勲 六等単光旭日章受賞 元市浦村議会議員 故工藤武義さん

工藤さんは昭和三十五年一月に市浦村議会議員に当選されて以来、四期十六年にわたって在職されました。その間、産業経済常任委員長、土木常任委員長等を、また昭和四十七年から昭和五十

す。体験学習終了後、参加した中学生たちは赤ちゃんへ「歩けるようになった一緒に遊びましょう」「元気に成長してください」と書かれたメッセージを送り、赤ちゃんのすやかな成長を願っていました。



▲おむつの交換はこうやって…



故工藤武義さん

年までの四年間副議長を歴任され、村政発展のために貢献された功績により今回の受賞となりました。

五 十三年ぶりの再会を喜ぶ 相内小学校昭和十九年度卒業生同窓会

八月十六日小泊村雄乃湯温泉で、昭和十九年度相内小学校卒業生による同窓会が行われました。

同学年の卒業生は五十五名で、うち当日は二十二名の卒業生と恩師である青山さち先生が出席。中には五十二年ぶりに地元へ帰ってきた人もいたそうです。今回のクラス会の幹事を担当された奈良正勝さん(太田)によると、子どもも手を離れ、仕事も第一線からは退いたので若干の余裕が出てきたことと、久しく会っていない人も多かったことがきっかけとなって、今回のクラス会となったそうです。

次世界大戦中で、貧困・粗食に絶えた時代でしたが、今の日本がこれだけ豊かになったことは喜ばしい限りです。今日は童心に帰って楽しませよう。とあいさつ、引き続き乾杯が行われました。



▲記念撮影より

畜産農家の挑戦

家畜市場で市浦牛が高値を記録

七戸町の県畜産市場で、七月一日に開かれた子牛市場において山田清作さん(磯松地区)が出品した雄子牛「春山五」が当日行われた競りで最も高い六十三万七千三百円の値段を付け、注目を集めました。

青森県では県産牛の品質向上を目的に、全国的にも一・二を争う種雄牛と評価されている「雪国」を黒毛和種では初めて県の基準種雄牛に指定しており、この「春山五」は初めて市場に出された「雪国」の子ということでも注目されていました。

市浦村では、近年人工授精を積極的に取り入れることにより肉質の向上に努め、さらに毎年秋に行われている「技術者品評会」等によって飼育技術の向上も図ってきました。畜産関係者は「これまでの各農家による取

交通安全は毎日の積み重ね

各団体による交通安全運動

この度、十三小学校四年生による交通安全街頭指導、金木地区交通安全協会による「第十六回交通安全式青空交通安全大会」が行われました。

七月十四日、十三小学校児童



▲昨年の子牛品評会より

市浦牛のさらなる向上をめざすため、これからも畜産農家の挑戦は続きます。

による街頭指導が、仕事帰りの時間に合せて午後五時から午後六時までの間、同校前で行われまして。

この活動は、長尾南さん(小四)が発起人となって行われた



▲子どもたちによる街頭指導より

もので、社会科の授業で学んだ「交通事故からくらしを守る」がきっかけとなって四年生全員に呼びかけたところ、全員が賛同して今回の街頭指導となりました。

児童たちは、仕事帰りで家路を急ぐドライバーへ「お仕事ご苦労様です。交通安全にご協力をお願いします」と声をかけながら、手作りのチラシとキャンディーを渡して交通安全を訴えていました。中には「時間がなから」との理由で街頭指導を断られる場面もありましたが、児童たちは、当日街頭指導の協力者としてくださった神強さん(金木警察署十三駐在所)が話した「どんなときもゆとりを持って運転を心がけることが大切

ですよ。」との言葉を噛み締めていました。

一方、金木警察署管内の二町二村を交通安全リレー旗を引き継ぐことよって、交通安全意識を高めることを目的とした「第十六回リレー式青空交通安全大会」は七月二十一日に役場前で行われました。毎年夏の交通安全運動に合わせて行われているこのリレーも十六回目を数えることになりました。

大会では六月末現在で交通事故死亡事故ゼロ六千七百四十九日

の記録をもつ小泊村よりリレー旗が引き継がれ、高松村長が「春・夏・秋にそれぞれ行われる交通安全運動は節目に過ぎない。皆さん、毎日が交通安全運動期間だという心構えで臨んで欲しい」とあいさつ。引き続き、十三保育所母の会副会長の小倉英子さんが大会宣言を読み上げ、拍手で採られました。

このように、各団体が交通安全事故の撲滅をめざして活動しているところですが、昨

年七月三十一日に十三地区で発生した交通事故で少年二人が死亡したことにより、交通事故死亡事故がゼロ千五百日の記録が目前に達し、それ以後も市浦村内で三件の交通事故死亡事故が発生しているなど、私たちはいつ事故の当事者になってもおかしくない状況です。今回紹介した各種団体の活動も村民一人一人の協力がなければ実を結ぶことは不可能です。これを機会に、みなさんも今一度交通安全について考えなおしてみたいかがでしょうか。

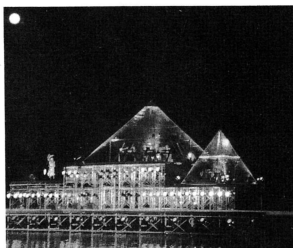


▲青空交通安全大会より

音と光の華麗なる共演 姫神・奥津軽 十三湖コンサート

八月八日、今年で三回目となる「姫神・奥津軽十三湖コンサート」が開催され、村内はもちろん、全国各地から五千人の観客が集まりました。

今回のテーマは「縄文(三内丸山)から中世(十三湊へ)。姫神・星さんの十三湊(安藤東)氏への想いが音と光に変え、十三湖の湖上に設置された特設



▲当日は天候にも恵まれ満月のコンサートとなりました

ステージに繰り広げられました。オープニングアクトは、この日のために新曲を用意して臨んだ和太鼓サークル「東日流衆」前回、前々回に引き続き三回目の出演とあつて演奏はもちろん、魅せる”ことも考えられたステージで見事に大役を果たし、いよいよコンサート本編へ。

国境を越えて集まった数々の共演者も姫神コンサートの魅力の一つですが、今回も多くの共演者が登場しました。

演劇サークル「阿蘇部族」による「安藤(東物語)」は三部構成となっており、義経の北方伝説、北前船と弁財衆、興国元年の大津波などといった十三湖に

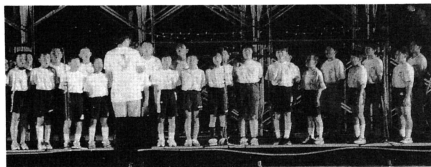
ひめかみヴォイス(地声合唱)らによるすばらしい歌声や菅原裕紀さんによるパーカッション

まつわる数々の伝説を元にした内容で、俳優のくろもちひろゆきさんによる作・演出が行われました。この他にもヤドランカさん(ボスニアヘルツェゴビナ)、オットフオンバイラさん(モンゴル自治区)、



▶客席は超満員!

(打楽器)など、多くの魅力的な共演者がステージを盛り上げ、クライマックスは村内各小学校児童と上ノ国町各小学校児童による合唱曲「涙から」。そして姫神のシンセサイザーとが一体となったステージにコンサート終了後、観客から惜しみない拍手が送られていました。



▶市浦村と上ノ国町の小学生は「涙から」を合唱

合格 おめでとう

第一〇九回全国商工会決算検定試験が六月十二日午後四時から開催されました。今回の受験者数は三十四名で合格者は次のとおりです。

▽二級 竹谷知佳、村元蘭美 (辻分珠算塾)

▽三級 川内聡美、山田裕志 (辻分珠算塾)棟方亮伍、近藤祥平(浦田塾)

▽四級 佐々木麻里絵(辻分珠算塾)

▽五級 藤田嗣門(辻分珠算塾)

▽六級 小山内理佳子、櫛引良太(辻分珠算塾)

▽七級 田中未久、石岡麻由子、石岡奈未司(辻分珠算塾)

▽八級 本荘志織、越谷めぐみ、武田和(浦田塾)

▽九級 飯島大貴(辻分珠算塾)

▽十級 若山和希(浦田塾)

長尾南、濱田芽里、近藤佑人、新岡步美(浦田塾)

長尾南、濱田芽里、近藤佑人、新岡步美(浦田塾)

飯島大貴(辻分珠算塾)

若山和希(浦田塾)

夏彩祭

ねぶたまつりと

坊様おどり

八月十六日と二十日の二日間、相内地区で「夏彩祭 ねぶたまつりと坊様おどり」が開催され、盛況のうちに終了しました。

今回のまつりは、商工会青年部が中心となって運営されたもので、かつてにぎわっていた「坊様おどり」など、相内の夏まつりににぎわいを取り戻そうと企画されたものです。ねぶたまつりは十六日、二十日両日も夕方に役場前を出発、相内婦人会による「しゅうら音頭」の

商工会青年部長の成田武司さんによると、「今回は歩行者天国を含め、初めての試みの部分が多かったため相内を会場としましたが、次回からは地域を問わずに市浦村内を回り、感動を与えたい」と今後のまつりについても意気込みを見せています。

流し踊りを先頭し、相内地区のメインストリートを通りねぶた・人形ねぶたが練り歩きました。まつりのメイン会場である本町は、金本警察署管内では初めての試みとなった歩行者天国が実施され、盆踊り大会、ビアガーデンなどが開催され大ににぎわい。フィナーレは最後の力をふりしぼってねぶたを力いっぱいハネ、参加者は心地よい汗を流していました。



▲子どもたちも祭りを楽しみました。



▶盆踊り大会は、太田地区より仮装して参加する人も登場。



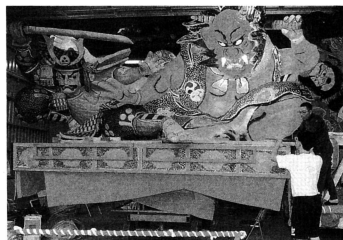
◀ねぶた囃子には、松元氏子青年会も応援にかけつけました。



▶フィナーレは、ねぶたで飾りました。



▲本町は歩行者天国へと変身。約500人が参加しました。



▲16日は雨によりねぶたが破損するアクシデントもありましたが、毎日遅くまでねぶた愛好会による修繕作業が行われたおかげで20日の運行にごぎつけることができました。

地域教育活性化センター 活動推進事業実施!!

市浦村教育委員会では、家庭・学校・地域社会の連携の下で学校外活動に関する取組を行うことにより、青少年を健全に育むための環境や、魅力ある地域社会を創り、地域の教育力の向上を図ることを目的として、国の事業を県より委託を受けて、村内小学校四校を二校ずつ、十年度、十一年度の二ヶ年度にわたり左記の事業を実施することになりました。

市浦村地域教育 活性化連絡協議会

結成六月二十二日(月)

教育に関し、様々な問題が取りざたされている昨今です。青少年を健全に育むための環境や、魅力ある地域社会を作るため、まずできることは、家庭・学校・地域社会が連携すること。地域における青少年の学校外活動を

すすめるため、かつ、実効あるものにするために、この二点を趣旨とする県の委託を受けて市浦村の小学校が取り組むことになり、そのための連絡協議会が六月二十二日に発足しました。

◆協議会構成メンバー
(今年は一校が対象)

- 一、市浦村教育委員会教育長
- 二、市内小学校長

- 事業名
「ゆつたり、びのび体験事業」
- 活動内容
野菜の栽培・サッカークラブ・陶芸実習(もや焼)・和太鼓・小馬踊り・植物観察など

学校外活動推進事業

●目的

学校外活動の指導にふさわしい技能を有する地域の人材の協力を得て、継続的・日常的な学校外活動を実施すること

- 実施校
十三小学校

●事業名

- ①いきいきさわやか交流事業
- ②活動内容
野菜栽培・バレエボール教室・野球栽培・十三の砂山踊り講習会・カヌー・岩木川下り、ねぶた絵作り・和太鼓教室・地引網体験・しめ縄作り など

◆事務局 教育委員会生涯学習課

◆事業名 「地域教育活性化センター 活動推進事業」

◆学校のスリム化推進事業

●目的

学校との連携の下に、家庭や地域社会が積極的に役割を担っていくこと

- 実施校 脇元小学校

友好町村だより ②

かみのくに 情報ランド

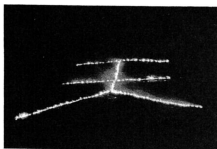
エゾ地の火まつり開催

「天を焦がす神火は大地の民を暖かく包む」

七月二十六日、エゾ地の火まつり第一日は、強風の吹く中、夷王山特設ステージで開催されました。

サマライブ・イン上ノ国「ヤルQライヴツアー'98夏の乱。六時三十分、ステージ上にシヤルQが登場すると、うちわを手にした約四千人の観客からは大歓声。数多いヒット曲が演奏されると、ステージに送られる声援もさらに大きくなっていき

ました。コンサートのみならず、上ノ国、古くから上ノ国に伝わる龍燈伝説を再現した火まつりがあり、再現しました。海神「龍神」が山の女神に恋をして、年に一度龍燈となり逢いにくるという伝説を巨大な「天」の火文字で再現する火まつり。龍燈太鼓を合図に壮大な火文字が浮かび上がり、見守る観客からは温かな拍手が巻き



▲夜姿を焦がす「天」の火文字



後三年の政

多賀へ引き上げました。

(18)

戦名について

前号に述べたように、要害を誇った金沢の稱も陥落し、家衡をはじめ武衛および千任は無難にも首を斬られました。また、宗徒の名馬、武士四十八人も全部誅せられて晒し首にされました。將軍義家は多年の胸の塞がりも開け、部下とともに心の底から万歳を叫ぶのでした。その後暫く出羽に逗留して戦火に達った人家の復興に尽くし、士卒の労をねぎらいました。そして、国府



▶「前太平記」所収

「前太平記」の作者はこの合戦の名称について次のように言っています。

「去る員任、宗任の反乱の時、頼義朝臣は在陣十二年に及んだけれど、実際の合戦の年数を数えて奥州前九年の軍といひ、この度の義家朝臣も在陣十年に及んでいるけれども、これを八幡殿の後三年の軍といひ」と言っています。

さて、「軍」は「いくさ」と読んで戦争のことですが、従来から「前九年の役」「後三年の役」と称えられてきましたので私も「役」とは「エツ」中央政権から奥州の人びとに「エツ」「エミシ」と呼ばれ、異国人扱いにされてきました。そのために「役」としたのかも知れません。

とにかく前九年の役で出羽仙北郡の俘囚長から、「羅」鎮守府將軍に抜擢された奥州の大豪族清原武則の一族がこの戦いで滅亡したわけです。

清衡、奥州を手中にする

この戦いで国司義家の名声は父頼義をしのぐ程の名声を博しました。雁の

乱れをみて家衡軍の伏兵を見抜いたこと、家衡の没落を予言したこと、飢寒の時に士卒の労を慰めたこと、剛愎の座を定めて軍兵を動ましたこと等は上代はもろん後代にもこのような良将は出ないであろうと特に関東の武士たちはよく源家の被官として心服し、東国における源氏の勢力を盤石にしました。

義家は国解を朝廷におくり追討の官符を賜り首を京都へ献ずることを奏上しました。公卿ならもその功績を認めましたが、白河上皇は義家の今度の合戦は私的なものであるからとのことで勅許がでませんでした。院宣の政治の始まりです。

翌年の春に義家は都へ上りますが、奥州の目代として藤原の清衡を任命します。清原真衡が病死し、成衡が討死の後は奥六郡の押領使はそっくりそのまま清衡の手に渡ったことになりました。この年の夏の除目で義光は刑部丞という官職に、次郎義親も左馬允に更に冬討馬守に補せられ、三郎義国も兵庫助、四郎義忠は右兵衛尉に任官しています。義家については何らの記載もないが、後には正四位上に昇進していることから正四位下ぐらいになったものだろうが、安倍氏の血統の清衡は奥州の覇者として平泉文化を築くことになります。

わが市浦村との関係

永保三年（一〇八三）の秋、義家が陸奥守に任官して国府多賀城に入った時、清原真衡が三日間、奥州に入ったを再記してみたい。「一日ごとに上馬五十匹なん引きける。其の外金、羽、あざらし、絹布の類知らず持て参れり」と義家に莫大の贈り物をしています。この贈り物の産地を調べてみますと、馬は糠部、金や絹布は岩手もののが有名です。「羽」（鶯か鷹の羽）や「あざらし」（皮）は蝦夷島、現北海道や樺太（現サハリン）およびその対岸の沿海州等北方の産物としが考えられないのです。この北方の産物を清原真衡に取次いだ人物は、どう考えても化外の地といわれた津軽のエミシといわれた安倍氏が大きいかかわっていた可能性が強いのです。

エミシといわれた津軽の豪族には安倍頼時時の安倍姓を冒称していた人物もいたものでしょう。前九年の役の逃亡者もいたかも知れませんが、高屋や良宗の津軽亡命伝承もここから考える必要もあると思います。清原真衡はこれら北方の産物を津軽の安倍氏を介して入手したものと考えます。「蝦夷地その北方地域も含めて」十三港一白鳥窟（真衡の居館）のルートに求めるのが私の持説です。この意味を以て「後三年の役」はわが市浦村の歴史研究に重要なものであることを確信しています。以下「市浦村史」第貳巻参照。

地元企業の繁栄を 支える保証制度

市浦村では青森県信用保証協会と、中小企業者の事業資金にかかる借入を円滑にするため、次の特別保証制度を実施しています。

無担保保証の場合は、保証料率を更に0.05%引下げし、負担の軽減を図るとともに、地元企業者のご利用しやすい制度として、きめ細かな対応をしていくことになっています。大いにご利用ください。

特別保証制度

- ▶ 項目 ④ 簡易小口資金
- ▶ 保証金額 750万円
- ▶ 期間 5年以内
- ▶ 貸付利率 年率4.00%以内
- ▶ 保証料 年率0.85% (0.80%)
- ▶ その他 ベンチャー企業の保証料は村が全額負担
() は無担保保証の料率です。

- 無担保、無保証人制度も扱っています。この場合の保証料率は0.68%と一層引下げた取扱いとなっています。
- ▶ お問い合わせ先 役場経済観光課
- ▶ 電話番号 62-2111

燃やせるごみの一部が 有料となります

工場、会社、スーパー、デパート、商店などから西部クリーンセンターに直接搬入するごみ、廃棄物収集業者に運搬を依頼している事業系ごみ、一般家庭から直接クリーンセンターに搬入するごみは、

平成10年10月1日

から有料になります。

**処理手数料は
10kg当たり30円です**

- 各市町村が定期的に収集している一般家庭の燃やせるごみは無料です。
- ごみの減量、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

- ▶ お問い合わせ先 役場住民福祉課
- ▶ 電話番号 62-2111



消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

『日常生活と水の事故』

水の事故というと、すぐに海やプールを思い浮かべがちですが水による事故は水泳中だけに起こるものではありません。私達の日常生活の中にも、水による危険は多くみられているのです。水のあるところ、必ず事故の危険があることを忘れてはなりません。

こんなところが要注意

◎家庭内

好奇心と行動力のかたまりである乳幼児の事故は、周囲の大人が気を配って、予防する以外に方法はありません。乳幼児は、

体にくらべ頭が大きく、力も弱いので、バケツなどに頭から落ち込むと自分ではなかなか起き上がれません。コップ一杯(鼻と口をおおうだけ)の水があれば、いつてもどこでも事故はおこりえるのです。乳幼児の身になって家庭内をみなおす必要があります。

☆水の入っている浴槽
☆使用中の洗濯機
☆洗面所、便所
☆水の入っているバケツやタライ

◎家の周囲

家の周囲にも危険な所がたくさんあります。子供たちは危険な場所ほど興味をひかれるものですが、危険かどうかの判断ができません。子供の発育に先回りをして環境の整備に心がけておきましょう。実際に現場を見させて指導しておくのも事故を防止するひとつの方法です。

☆ふたのないマンホールや下水道

☆使われていない井戸

☆ため池や用水路

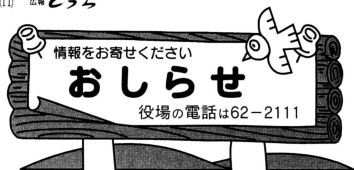
☆側溝

自分の子供だけでなく、よその子供たちが危険なことをしていたら、近くにいた大人が注意しましょう。

——もしもの時に——

もしも家族の人が急に倒れたらあなたはどのようにしますか。もしもの時に備えて「救急法」を覚えてみませんか。

消防署では救急法を指導しています。お気軽にご相談下さい。担当 救急救助係 三浦、笹山



子育てメイトを ごぞんじですか

「子育てメイト」は、みなさんのご近所に住む、子育て経験豊富な方達で、現在子育て中のお母さん達の、子育てに関する悩みやちょっとした不安などについて、自分の経験等を通して、相談に応じる方達です。気軽なお友達としておしゃべりを楽しんでください。

なお、保育所や幼稚園に通っていない幼児のいるご家庭を訪問したり、道ばたで声をかけたりすることもありますが、話された内容を他人にもらしたりしませんので、気軽になんでも相談してください。

▶お問い合わせ先

青森県健康福祉部児童家庭課
児童環境づくり班

▶電話番号

0177-34-9304

保険と税

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災難に備えて、生命保険に加入していますが、生命保険には税金も関係しています。

【保険料を支払った場合】

所得税を計算する際に、支払った保険料の額に応じて、一定額が所得金額から控除されます。

【保険金を受け取った場合】

生命保険契約の保険料をだれが負担していたかにより、相続税や贈与税あるいは所得税が課税されます。

詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。

▶お問い合わせ先

五所川原税務署

▶電話番号

34-3136

知っていますか「なんでも110番」

村では村内各地域に「なんでも110番」の相談員を配置し、地域づくりや行政に対する相談等を受け付けています。どんなことでも気軽にご相談ください。

各地域の担当相談員は次のとおりです。

地区名	担 当	T E L
相 内	成田経済観光課長	62-2749
太 田	古川議会事務局長	62-3467
脇 元	桑野企画財政課長	62-2374
磯 松	松江総務課長	62-2472
十 三	中居建設課長	62-3157

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	7 月	累計	死者のうち	高 齢 者 の 死 者	
				飲 酒 運 転 による 死者	シ ー ト ベルト
発生	699件 (746)	4,559件 (4,497)	死者のうち	32 (23)	
死者	17人 (14)	71人 (60)		12 (8)	40 (30)
傷者	817人 (913)	5,423人 (5,462)		19 (23)	7 (10)
				着用義務者 (着けなければならぬ人)	
				非着用者 (着けていなかった人)	
			着けていれば 助かったと思われる人		

()内は前年。累計は1月から。

市浦村の人口と世帯数 平成10.8.3現在

大字名	前月人口	人 口	世 帯 数
相 内	1,275	1,273	418
桂 川	69	69	22
太 田	273	275	88
脇 元	525	523	197
磯 松	313	312	110
十 三	796	796	251
計	3,251	3,248	1,086

公共職業安定所からの お知らせ

新規学卒者求人受付

公共職業安定所では、平成11年3月に高等学校を卒業する人を対象とした求人を受け付けております。新規学卒者の地元雇用の促進と企業活性化のため、事業主の皆さんは、早期の求人票提出にご協力をお願いします。

各種雇用関係助成金の拡充

公共職業安定所の紹介により、45歳以上の求職者を常用労働者として雇い入れた場合、「特定求職者雇用開発助成金」制度により、助成金を受けられることになりました。

また、事業所を設置または整備し、常用労働者を雇い入れる場合に受けられる「地域雇用開発助成金」や指定業種に属する事業主が景気の変動などに伴って休業、教育訓練などを行った場合に受けられる「雇用調整助成金」についても、助成率が引き上げられました。

▶お問い合わせ先

五所川原公共職業安定所

▶電話番号

34-3171

10月1日

平成10年度

住宅・土地統計調査

が行われますので、調査員が伺いましたらご多用のところ誠に恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

あなたの健診結果 どうでしたか

～ 病態別料理教室に生かす ～



No.119

病態別料理教室のお知らせ

☆期 日 9月17日
 ☆内 容 糖尿病について
 ☆時 間 9:30～14:30
 ☆場 所 市浦村コミュニティセンター
 (調理室)
 ☆対 象 4月の基本健診で「要指導」の項目があった方
 料理作りに興味がある方
 ☆講 師 安 保 省 武 栄 貴 士

◎送迎もあります。

詳しいことは、役場住民福祉課健康管理課までご連絡下さい。

▶電話番号 62-2111

今年も、例年に続き「病態別料理教室」が開催されています。回覧もしくは、衛生ごよみでも目になっている方もあると思います。

「病態別料理教室」と、並んだ漢字を目にすると難しく、イメージがしませんが、実際にはそのような感じはなく、参加した方みんなでワイワイ・ガヤガヤと楽しく行っている料理教室です。

その内容は、病氣別に区分けし、開催するもので、栄養士による「気をつけたいポイント」についてのお話もあります。

今年の総合健診「日ドック」

の結果が目立っていたのは、やはり①高脂血症の肝臓病（特に男性）③腎臓病でした。

①も②も、結果が気になった人、自分ではないけど、そういえば家族が...という人はいますか。

健診を受けるばかりでなく、その結果を活かしていくことが健康な体へつながるのではないのでしょうか。生活の中で一番重要な部分を占めているのが「食事」です。また、病気になる前の予防の方法として、食事でのちよつとした注意する点を、私達と一緒に楽しく学習しませんか。



▼お誕生

笹山 健一 (脇元) 善和
 白川 憲人 (脇元) 一紀
 竹谷 日奈 (脇元) 尚敏
 山田 巧 (脇元) 榮也
 三和 菜 (脇元) 公一
 小山内 真帆 (十三) 輝彦
 成田 夏南 (相内) 昌仁

▼ご結婚

佐藤 亜友子 (中里) 内
 加藤 順一 (岩木) 川
 山田 順一 (岩木) 川
 秋田 仁花 (桂) 内
 大島 護 (桂) 内
 大湯 留美子 (平賀) 内
 下澤 光司 (太田) 内
 笹森 恵美 (青森) 内
 亀田 玲一郎 (岩手) 内
 岩間 秀明 (相模) 内
 坂本 由美 (相模) 内
 村上 健十 (愛知) 三
 小清水 奈美子 (愛知) 三

▼おこやみ

豊島 好幸 (十香) 三
 室井 千香 (東京) 三
 藤田 裕樹 (磯松) 三
 久保田 浩美 (茨城) 元
 葛西 辰治 (五所川原) 元
 高橋 明美 (五所川原) 元
 渋谷 直樹 (五所川原) 元
 萬谷 静子 (脇元) 元



コードの接続には
コード接続器を使いましょう
(財)東北電気保安協会